

本校の自立活動研究経過

年 度	内 容
平成22年度～23年度	和歌山県特別支援学校教育専門性向上事業「特別支援学校研究指定」を受け、自立活動の指導の在り方について、特に「時間における指導」を中心として実践授業を行った。
平成24年度～25年度	本校独自で自立活動の研究を継続し、意見を活発に交わすことができる授業協議の場を作りだすことをサブテーマとして授業改善の方法を模索し研究を重ね、平成25年度の研究発表会で『自立活動の時間における指導について～PDCAサイクルを活用した授業改善を重ねて～』というテーマのもと、4年間行ってきた研究の成果を発表した。
平成26年度	個別の指導計画に焦点を当て、「日常の生活場面で生きてくる個別の指導計画に基づいた自立活動の指導を行う」ことをキーワードに、より実践に即した個別の指導計画を書くことを目的として研修を行った。
平成27年度	「人権が尊重される学校づくり～子どもの人権が尊重される授業作りと教職員の人権意識の向上～」という研究テーマのもと、「自立活動の授業は、子ども一人一人の実態把握から開始するものであり、自立活動の授業改善をしていくことは、一人一人を大切にすることに繋がり、ひいては人権が尊重される授業に繋がる」という研究仮説を立て、自立活動の授業改善に取り組んだ。
平成28年度～29年度	全国学校体育研究大会和歌山大会の研究指定校を受け、「わかった、できた→もっとやりたい！と思える授業づくり～自立活動の視点から一人ひとりを見つめて～」という研究テーマのもと、体育の授業に参加することや、指導目標を達成することが難しい児童生徒に対して、自立活動の視点を取り入れた授業改善を行った。